タイヤのセリアル番号

タイヤにはDOTセリアル番号と呼ばれる製造番号がホイールフランジの少し上に付いており、製造工場、タイヤサイズ、製造週、製造年などがわかります。これは米国の「タイヤ識別番号と記録保持(PART574-Tire Identification And Recordkeeping)規則に規定されたセリアルのことであり、米国に輸出、また米国で生産するタイヤには必ず適用しなければならなくなっています。

たとえば、DOT MP L9 ABCD 037と付いていたとしましょう。DOTはDepartment Of Transportation の略です。MPはメーカーコードと呼ばれ、DOTから各タイヤ工場に割り当てられたものです。L9はタイヤサイズコードと呼ばれ、この場合はP195/75R14のことです。ABCDはオプショナルコードと呼ばれ、各タイヤメーカーがタイヤブランドやタイヤの特徴を表示するのに使います。037は製造年週を表わし、最初の2桁は製造週で第3週目に製造されたことを示します。そして、西暦の末尾1桁を用いて製造年を示し、この場合は1997年の製造になります。また、輸出しないタイヤには最初のDOTが付いていないものもあります。通常、メーカーコードとタイヤサイズコードは



浮き出し文字で、オプショナルコードと製造年週はパネル による刻印文字で取り替え式になっています.

2000年から最後の製造年週の桁数が4桁になり、最初の2桁で製造週を、次の2桁で西暦の末尾2桁を用いて製造年を示すように変更されました。

((株)ブリヂストン 中島 幸雄)